

FreeStyleリブレLinkについて

FreeStyleリブレLinkはスマートフォンのアプリケーションです。

ワイヤレスでのセンサーのスキャンルコースの測定（フラッシュグルコースモニタリング）などReaderで計測していたことがモバイル端末で行うことができます。

スマートフォンがリーダーになれば一つ持ち物が減り、いつでもさりげなくグルコース値の確認ができます



現在のグルコース値
テキスト読み上げ機能を搭載。



過去8時間の測定履歴を表示

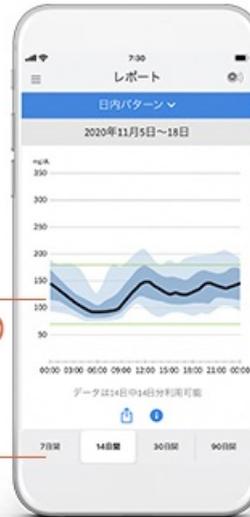
メモの追加



グルコース値トレンド矢印
直近のグルコースの推移が矢印で確認できる。

AGP (Ambulatory Glucose Profile)

レポート共有オプション



スキャンした回数のうち目標範囲内(TIR)にあった割合、目標より高かった(TAR)/低かった(TBR)割合

期間を選択できる履歴オプション

データ連携で自動的にデータ共有が可能に

FreeStyleリブレLinkでは、リブレViewを利用することで医療従事者と患者さんとでデータを連携することができます。患者さんのグルコース値データはFreeStyleリブレLinkアプリから自動的にリブレViewにアップロードされるので、医療機関でのデータのアップロードは要りません。

使い捨てのセンサーの起動をアプリで行うと、今までのReaderもではスキャン出来なくなります。アプリもReaderも利用する場合は、Readerで起動しましょう。

新しいアルゴリズムでは、MARD（実測値との差異）が縮小し、精度が向上

新しいアルゴリズムでは、持続血糖モニターの精度指標であるMARD（実測値との差異）が、より改善している（縮小している）ことが報告されています。

リブレリーダーのアルゴリズムも春頃にはスマートフォンと同じものに改良されるようです。

新しいアルゴリズムでは、低血糖時の誤差は確かに小さくなっているようですが、とくに急激な血糖変化の時などには、多少のずれはありそうです。（センサによっても精度に多少バラつきが出ます）

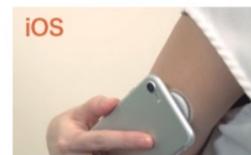
低血糖を疑ったときは、実測することが重要です。

アプリストアで「librelink」と検索してください。



FreeStyleリブレLinkはNFC搭載のスマートフォンで使用が可能です。アプリはお使いのスマートフォンのOSによりiOS、Androidそれぞれのアプリストアよりダウンロードいただけます。

服の上からでも測定できます



iOS
iPhoneの上部をセンサーに近づけてスキャンします。



Android
Android端末の背部をセンサーに近づけてスキャンします。



当院のIDは医師、または看護師にお聞きください